

デハ101貸切運転

上毛電気鉄道は、昭和3年(1928)年11月に営業を開始いたしました。赤城南麓を東西に横断するように、群馬県前橋市と桐生市を25.4kmで結んでいる生活路線です。「デハ101」はこの開業当時に制作された6両のうちの1両で、今走る電車としては、「日本で最古の車両」と言われています。営業当時の昭和初期を思わせるそのレトロ感あふれる角張ったデザイン、モーターが吊り掛け式と呼ばれている古典方式で「ウーウー」となるような独特の低駆動音が客室にじかに伝わり、鉄道愛好家だけでなく皆さまの心を魅了しております。



デハ101と赤城山



デハ101車内風景

全長16m、主電動機出力75kw×4個、オールコイルスプリング使用のイコライザー式台車です。架線電圧1500V。川崎車輛製造。開業時、「デハ101～104」、「デハ105、106」の6両を新造いたしました。なお、「デハ104」は車籍抹消のため、現在運行していません。(現在大胡構内留置)



大胡電車庫2009年撮影 デハ101とデハ104



大胡電車庫1991年撮影 デハ104とデハ101



デハ101貸切乗車記念に差し上げます(非売品)



「デハ101」 1日1往復貸切運行…10万円

「デハ101」が走る電車として”日本で最古の電車”となったことや、レトロブームで昔を懐かしむ方が増えたこともあり、注目度が高くなっております。また、ご希望により一般公開していない、大胡電車庫(登録有形文化財)の見学、昭和4年神戸川崎造船工場製造の「デキ3021」、「デハ104」といった貴重な車両など見学することができます。運行時間、運行区間、電車庫見学等、詳細についてはお問い合わせ下さい。【上毛電気鉄道株式会社 総務部 027-231-3597】



デキ3021